

2024年度 第4回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2024年7月23日（火）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前10時00分

閉会時間 午前10時40分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	向井 美紀
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課参事兼課長補佐	栞垣 敦子
	学校教育課長	寺坂 浩司
	幼児育成課長	向原 芳江
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外	こども支援課長	吉本 努
	文化・スポーツ振興課参事	福井 孝道

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

鈴木 千佳 委員

第2 前回の会議録の承認

2024年6月27日（木）開催 第3回定例会

第3 教育長の報告

第4 観光文化部の報告

1 文化・スポーツ振興課

- (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぷの祭典」実施報告について

第5 議事

- 報告第10号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 学校教育課

- (1) 生徒指導について
(2) 夏季休業中の研修について

第7 こども未来部の報告

1 こども支援課

- (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
2 今後の活動・行事予定

開会 午前10時00分

(教育長)

ただ今から、2024年度第4回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は鈴木委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 会議録の承認についてです。6月27日に開催しました第3回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回6月27日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配布した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

2点、ご報告を申し上げます。7月8日、学校訪問港中学校とありますが、城崎振興局が新たな試みをしました。これはヘルシンキの参加型予算をモデルにしています。12歳以上の子たちが予算編成に意見し、投票権をもち、その子たちの投票によって、何件か新規のアイデアが採用された、そんな形を城崎・港地域の未来づくりについて考えたいということであります。地域の人たちが、新たな未来づくりについての構想をプレゼンし、城崎中学校3年生と港中学校3年生が聞き、採点する。採点の結果いいという評価を得たものについては、補助金を与えるということでした。私も港中の時に行って聞きましたが、難しいプレゼンで、中学校3年生では無理だろうなと思いましたが、それでも子どもたちは一生懸命聞いていて、その子なりに評価をしていました。今、過疎化していることが具体的に自分たちにどう影響するかを考えるきっかけになり、大人たちはいろいろ考えてくれているのだということは伝わったと思います。ただ、城崎のことばかりのプレゼンだったので、港のことがなくてワクワクしなかったという子もありましたし、率直に難しく何がしたいのか全く分からなかったというのもありました。そんなことがあるのですけども、自分たちが投票したことが施策として1つでも2つでも出るというのはシビックプライドと言われている、地域づくりで大切なことですし、子どもたちも政治や街づくりに参加するという1つのきっかけになればと思います。今後も精査しながらできたらなど、期待するところです。

2つ目は、7月12日に、若宮正子さんという方がお越しになりました。豊岡市オリジナルのジェンダーギャップや多様性をテーマにした絵本が間もなくできます。これに100万円寄付してくださったのが若宮さんです。若宮さんというのは、今89歳。60歳で定年した後に、自宅で自分の母親を介護しなくてはいけない、そうなってくるとずっと家に閉じこもることになるので、外とつながる方法はないかと考えて今から30年ほど前、パソコンを衝動買いした。そこからエクセルの勉強を始められました。エクセルアートといって、エクセルの模様を使ったデザインの服を着て来られていましたけれども、自分で作ったものを最初袋やハンカチにしていたが、最後服にして、そしてそんなことからプログラミングに行きつき、80歳でプログラミングをはじめ、81歳で高齢者向けのゲームアプリ「ひな壇」を開発したということです。これから高齢者が増えていくから、ゲームソフトも高齢者には必要になってきます。そこに目を付けたのがAppleとMicrosoftです。彼女を会議に招待し、どんなことに気を付けたいのか、なぜこんなことをしようと思ったのかを聞いたと言われていました。一躍有名になってテレビにも出て、89歳のプログラマーといってICT最高齢、日本最高齢エバンジェリストと言われていました。その方は本当に元気でした。日本全国を講演して回って、全部自分で宿をとって切符を買って行くのですね。この「ひな壇」は、頑張ったからではない、好きだからやっただけだ。「私飽きたらプログラミングはしません。」と言っていました。この人は高校を卒業して銀行員になります。その時の銀行員

の仕事は、計算はそろばん。それからインクボトルにペン先をつけて書く事務仕事。それから計算は手で紙幣を数える。彼女は手先がものすごく不器用で、「まだその仕事をやっているの。」と言われて、かなりへこんで、私はもうだめかもしれないと思っていたら、電子計算機ができた。それから自動の紙幣計算機ができた。どんどん技術が発展して行って、銀行も多様化してきて、企画をしないといけなくなった。企画課に回されたら、水を得た魚のごとく、生き活きとして仕事にのめり込み、40歳くらいのときに男女雇用機会均等法ができ、最後には課長にもなりました。なので、能力が今はないとか、今求められていることについてはよくないかもしれないけども、社会が変わったら必ず評価も変わるので、それに乗っていきましょうという話でした。とにかく自分はノルマもルーティンも決めない、目的はとにかくワクワクすることをやっているとのことでした。社会が変われば評価が変わるって本当にそうで、以前私は中学校で先生していたのですが、その時に流行ったコマーシャルがリゲインで、「ビジネスマン24時間働きますか。」ががが働いて、朝早くから夜遅くまで仕事する人がすばらしいという評価でしたね。今反対でしょう。そんなことしたら能力がないと言われる。社会によって評価が変わるというのを、若宮さんの話を聞いていて本当にそんな風に思いました。学校の先生についてもこんなコメントがありました。先生の役割は知識を教えることではなく、子どものやる気を引き出して、もともと持っている能力を引き出すことだ。知識も技能もどんどん機械がやってくれるようになるから、そんなものは意味ないと。その通りですね。自分がおばあちゃんプログラマーでありながら、プログラミング言語を教え込んで、そして将来必要になるからやっておこうみたいなことは大反対。プログラミング教育なんかあんまり意味がない。ただし、全てのものはプログラミングでできているので、プログラミングとはどういうものかという概要とかしくみについて知ることはすごく大事。そんなことをやっていく必要があるのではないかなということです。10歳の子には10歳の子にしかできないことがあるので、今しか遊べないお友達もいるし、今できることを目一杯体験させてやってほしいなという、自分も10歳の子たちも、この瞬間を楽しむことが大事だという風に仰っていました。本が出ています、『やりたいことの見つけかた』というのが一番面白いと思います。ぜひ皆さんもどうぞ読んでみてください。

【日程 第4 観光文化部の報告】

(教育長)

日程第4 観光文化部の報告に移ります。文化・スポーツ振興課 (1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぶの祭典」実施報告について、文化・スポーツ振興課参事の説明をお願いします。

1 文化・スポーツ振興課

(1) 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぶの祭典」実施報告について

《文化・スポーツ振興課参事の説明概要》

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「第10回おんぶの祭典」実施報告について、資料に基づき説明する。

期間は、5月28日から6月2日までの6日間で、プレコンサートを5月26日に開催した。会場は、市内小中学校8校、認定こども園2園、豊岡市民会館、9会場で実施した。出演者は、計36名。市民参加プログラムとして、ジュニア・ソリスト7名参加。参加者総数は3,442名、う

ち高校生以下は1,381名。

児童・生徒からは、「一つ一つの音色が心に響いて、音楽の力はすごいと感じた」「続けて練習することで成功につながることを実感した」「豊岡市がおんぶの祭典を経験させてくださっているので、これからも音楽に親しんでいきたい」また、先生方からも、「生演奏の魅力を感じてより音楽に興味を持てたと思う」「本物を間近で見て、本物の方からこれまでの人生について話を聞いたことは、とても大きな経験になった」「音楽は子どもたちに良い刺激になる。音を楽しむ、音楽を楽しむ機会を作っていきたい」という感想をいただいた。

演奏家たちがご自身の学生時代、音楽の道に進んだ経験をお話しされ、訪問先の中学生たちにエールを送った。進路を考え始める中学生たちにとっては、色々な大人から話を聞く良い機会になった。新たに、2か所の認定こども園で「園訪問コンサート」を開催し、園に通う多くの子どもたちにも生の音楽を届けることができた。演奏だけでなく、実際に演奏家が使用している楽器を弾かせていただいたり、グランドピアノの中を開けて鍵盤が動く様子を見学するなど、楽器を親しむ機会にもなった。

課題は、祭典期間中、毎日夕方に開催している「稽古堂イブニングコンサート」の来場者は大人が多く、児童・学生の来場がほとんどない状態だったので、子どもたちにも立ち寄りやすいコンサートを検討していく必要がある。また、今回初めて実施した「園訪問コンサート」を継続するほか、障害のある子どもたち、こども支援センターに通う子どもたちにも、本物の音楽を届けるプログラムを検討する必要がある。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

様々な中学校などに行っていただいているのがありがたいと思うのですが、1年生だけとか1・2年生だけとか、全校生徒ではないところがあるが、それは色々な行事と重なっていたからでしょうか。

(文化・スポーツ振興課参事)

学校の規模にもよるかと思います。生徒数の少ない学校ですと全学年に聞いていただいたりしました。もし学年を指定しているのであれば、学校とのやり取りの中でそうされているのかなと思います。

(向井委員)

せっかく来ていただいているので、1人でも多くの方が聞けたらいいと思うので、その辺のことも考えていただければと思います。

(文化・スポーツ振興課参事)

今後につきましては、10回というのは節目で、次はどのような展開かというのは今考えている中で、もう少し子どもに焦点を当てていくことが必要だと考えています。

(教育長)

学校の対象は、基本学校と相談して決めている。学校の事情があるから。そういうことですね。

(文化・スポーツ振興課参事)

そうです。

(飯田委員)

課題にもありますが、稽古堂のコンサートは毎日夕方にしていただいている、非常にいいのですけれども、豊岡市は広いですので、本当に聞きたい人が来ることができているのかなということとを心配している。各地域にそれぞれコミュニティもあるのだし、時には他のところにも回ってほしい。それぞれ日程や都合があるけれども、そんなことを考えていただけたらうれしいなと思いつながら毎年このコンサートを聞いていました。ご検討ください。

(文化・スポーツ振興課参事)

稽古堂では、毎日夕方やっていたのですが、それ以外に日中には街角コンサートというのを各地でやっており、稽古堂のイブニングコンサートと街角コンサートとでは来られる方も年齢層も違いますので、そのあたりはいただいたご意見を参考にしながら今後のプログラムなど検討していきたいと考えております。

(鈴木委員)

学校に訪問していただけるのがありがたいです。もし、保護者の方もコンサートを見に行くことができれば、仕事等ありますので行ける方は限られてくると思うのですが、親子でコンサートについて会話をしたり、そこからイブニングコンサートに保護者が子どもと一緒に連れていけるようにつながるのではないかと思います。

(文化・スポーツ振興課参事)

保護者の方もどう関わっていくかというところ、実行委員会の三役の方とも話す中でも、例えばイブニングコンサートは大人が多い、子どもにも入っていただくためにはやはり保護者から入っていくように周知など必要ではないか、というようなやり取りをしております。

(教育長)

その他、ありませんか。

(委員)

なし

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。報告第10号 寄附物件の受納について、教育総務課参事の説明をお願いします。

○ 報告第10号 寄附物件の受納について

《教育総務課参事の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体1件、個人2件、合計3件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

蝶の標本が東中に寄付されたのですが、新聞でなぜ東中なのかという理由があったのですけれど、東中の生徒だけというのはもう少しもったいないような気がするのです。この頂いたものを他の子どもたちにも見る機会が与えられるかどうか。本日でしたか別の方で、水生動植物の希少種の標本を整理されているというのがありましたけれども、生態系が変わってしまって絶滅してしまっているようなものもあります。それにしても生態系というのは変わってきてしまって、絶滅してしまっている品種もあるので、そういう標本というのはいいなと思っていたので、東中に行けば見せてもらえるというのはあると思うのですけれども、他の子どもたちに見てもらえる機会を作ってもらえるとうれしいなと思っています。

(教育総務課参事)

そのような機会を作ることができるようでしたら、東中の生徒のみならず、他の生徒にも見ていただけるようなことになったらいいなと思っております。

(教育長)

その他、ありませんか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。学校教育課 (1)生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

1 学校教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

グループ LINE の中で1人の生徒をいじめたとか、そういう事って一番心配していたことかなと思うのですが、その生徒は学校に行けているのかとか、改善したかというのはいかがでしょうか。

(学校教育課長)

今回のケースで該当の生徒が欠席になるとか、行きにくくなっているということはありません。

(向井委員)

どのようにしてわかったのですか。

(学校教育課長)

保護者が異変に気付いたということです。調べてみたらそういうことがあり、事案としては初期の段階で、保護者の方もアンテナを高くされていたので異変に気付き相談することで初期対応はスムーズでした。ちょっとしたいざこざからそういうことになり、今は解消されています。

(教育長)

不登校についてですが、6月末時点で昨年同時期との比較で69名から71名ですから、2名増加しています。「新規」と言うのは今年度初めて不登校になった数、「継続」が昨年からずっと不登校というケースです。新規は昨年は16人、今年は9人です。もしかすると4月から配置したサポートルームの支援員等がうまく機能して、その効果が出ているのかもしれないと思っておりますので、できるだけ新規を抑える取組を今後も進めていきたいと思っております。

(教育長)

続きまして、(2) 夏季休業中の研修について、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 夏季休業中の研修について

《学校教育課長の説明概要》

夏季休業中の研修について、資料に基づき説明する。

夏季休業中に実施予定の研修一覧としてまとめている。日程・内容等ご確認いただき、可能であれば参加いただきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部からの報告に移ります。こども支援 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援課長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援課長の説明概要》

6月の豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通所児童生徒数は19名で、延べでは156人。平均すると1日7.8人が通ってきていた。

学校に期末テストを受けに行った中学生が去年は2人だったが、今年は6人おり、4名増える結果となった。日々規則正しく通所し、そこで学習をする子がいるとか、授業形式みたいな形を取り入れていることもあって、自分の力を試してみたいとかやってみたいとか、そんな気持ちになったのかもしれないと分析をしている。

特別支援の取組状況は、全ての小学校の1年生の訪問が終わった。6月は11件の新規申請・相談があり、検査希望7件。支援の入級を視野に入れた件数が4件。5歳児の発達相談から継続相談が8件。また、昨年からの児童クラブの職員向けに研修をしていて、研修を2回終えた。あと後半2回するという予定で、去年受講したクラスと去年受講していないクラスと2つに分けて研修をしている。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が4件、2世帯4人である。

第1四半期が終わった状況で今年の同時期と比べても、相談件数・実件数ともに増加傾向にある。まだまだ状況的には増えている状況で、そちらの方も注視しながら活動していきたい。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第8 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第8 委員活動報告に移ります。活動で感じられたことで、特に伝えたいことがありましたら、お願いします。

(升田委員)

7月3日の但東地域学校再編に関する説明会に出席しました。私の感触では、何件かの質問が出ていましたが、小中一貫の義務教育学校ありきの質問がほとんどではなかったかと感じています。開会での最初の教育長のお話が、参加している皆さんにとって統合に向けての道筋として理解しやすかったのではないかと思います。旧の中学校統合問題より各地域にとって学校への思い入れや、学校統合に関してはいろいろな考えもあると聞いていたので、そういうご意見も聞けるのかなと思っていました。しかし、そういった意味のご意見はなく、こんな学校にしてもらいたい、今構想している学校はこの方がいい等の統合ありきの質問、ご意見だったように思います。この説明会が、但東地域の学校再編に向けての大きな第一歩になったと私は感じました。

(鈴木委員)

要保護児童対策協議会の代表者会議がありました。豊岡市においてもいろんな虐待があったり、貧困などの子どもがいる状況があるのを実感して、私自身すごくショックを受けました。そのような中で沢山の関係機関の方々が、問題解決に向けてご尽力して下さっていることに感謝をしたいと思うとともに、私もできる限り協力したいと思います。そして、こども家庭センター所長さんの講話より、2点皆さんと共有できたらと思い、発言させていただきます。

1つ目は、虐待の早期発見と早期通告がとても重要であるということ。そのために地域で子どもや子育て世帯を見守っていく社会づくりが必要であるということです。このことは学校や教育委員会でも目指されていることに通じていると思いますので、ぜひ連携していただいて虐待の早期発見、早期防止につなげていただけたらと思います。

2つ目です。今、豊岡こども家庭センターでは里親を小学校区に最低1人、できれば複数の里親登録者の配置を目指したいという風におっしゃっていました。その理由としては、虐待が疑われるような形で一時保護された場合に、施設に入所する場合は距離が遠いので、学校に行くことができなかつたり、転校せざるを得ない状況にあるようです。そこで校区の里親さんに預かってもらうことで、できる限りその部分を子どもたちの負担になるべく少なくなるようにしたいということでした。もう1つは、子どもを里親の方でショートステイができれば、より虐待防止につながるのではないかと、その2点で小学校区に最低1人、できれば複数の里親登録者を配置したいとおっしゃっていました。市内でも里親のいない校区が何区かありますし、全体的に見ても少ない印象を受けています。虐待防止や子どもの安心できる居場所づくりのために里親の理解、周知にご協力をお願いしたいと思います。

(飯田委員)

実は先日、久斗の神社の奉納相撲があったのですが、このコロナの関係で5年ぶりだったのです。そこで区の方ではやってほしいということでしたが、育成会の方からやめると、そういう体験もないし裸になるのが嫌だしと言って、最初からできないという発想で会議が進められました。いや、そうではなくて、できるかできないか、やらないって判断はすぐできる、何かやれる方向での意見が出ないか、出してきた課題をどうして潰していくのだという議論で進みましょう、という形で去年からずっと話をしてきました、育成会の人にもそれで納得してもらえて、やっと参加した子たちは7人。高学年の子は恥ずかしいから出ない。幼稚園から4年生ぐらいまでの子が、親から出ようで、奉納相撲ってこんなんだよって説明してもらって参加しました。

やった後の達成感は親も地域も非常に盛り上がってよかったね、区の方も活性化してよかったねということでもよかったのですけれども、要はそれを進めるにあたっての話のやり方ですね。こんなことはできません、と否定的な意見で話を進めてしまったら、物事は前に進まない、やる方向で物事を考えていくと、逆の方向に行くのと全然違うので、会議の進め方はどこの組織でもそうなのですけれども、前向きな意見をまず出そう、なおかつできないというのは最終判断でいいのではないかという形で、議論を進めていく形で、特に学校なんかでもそういうことがあると思うので、そうなるとうれしいなと感じながら、相撲を見ていました。

(向井委員)

プールの民間移行の件です。お稽古で出会う八代の子どもたちの様子です。子どもたちはプールの時間を、移動も含めて楽しんでいるようです。屋根もあるし、泳ぐ時間数もちゃんと確保できて、早い時期から入らせてもらっていて、何回も泳がせてもらっていて、いいなと思っています。ただ今度、五荘の児童たちは、普通のプール開きって6月の半ばじゃないですか。梅雨に入ったりして、時間数がなかなか取れなくなっています。この暑さだったらプール開きを前倒しして下さったりすることはできないかなと思ったりします。先日の暑いときは温度が高すぎてプールに入れなくて、時間数がとれないから、最近の暑さならプール開きを早めていただいたらうまくいくのではないかなと思います。そうすると時間数もちゃんと確保できるのではと思います。

(学校教育課長)

7月も年々暑くなってきていまして、それもあつての民間移行だったわけですが、現状、修学旅行と自然学校の大きな行事があり、いろんな職員が絡んでいて、プールの安全確保もすべての教員が関わっていくので、その辺の兼ね合いが難しいところです。

【日程 第9 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第5回定例教育委員会会議は、8月19日(月)午前10時00分から、本庁舎3階庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、8月19日（月）午前10時00分から、本庁舎3階庁議室で開催します。

これをもちまして、第4回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時40分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2024年7月23日

教育長

委員